

# 伝え合う力を培うための効果的な情報機器の活用

深谷小学校

## 1 単元名「100円でゆめを買おう！」 第3学年（総合的な学習の時間）

### 2 単元のねらい

経済的、物質的にも豊かな生活の中で、薄れかけているものに対する愛情や執着、さらに、人と人との心のつながりの大切さを見つめ直し、これからの生活に生かしていこうとする態度を育てる。

### 3 100円での主な児童の活動

- ・みんなで遊べるものを作り、たくさんの友達とふれあう。
- ・手紙を書いて、友達と交流したり、深谷のことを知らせたりする。
- ・プレゼントを作り、園児やお年寄りと交流する。
- ・市内循環バスに乗って深谷市を知ったり、福祉施設を訪問する。
- ・軍手やビニール袋を用意し、ごみ拾い活動をする。
- ・生き物を飼育、観察し、生活の様子を調べる。
- ・募金活動について調べて募金をし、人の役に立てる。



### 4 単元計画（一部省略）

学習過程	日時	学習活動	情報機器の活用	支援評価
調べる・追求する	10/10(2時間) 10/16(3時間) 10/21(2時間) 10/25(2時間)	4 グループの課題にそって活動する。 (総合9時間)	デジタルカメラ ビデオカメラ コンピュータ ・CD-ROM 図鑑 ・インターネット ・ワープロソフト プリンター テープレコーダー	毎回、活動に入る前にはグループごとに活動の内容等を確認し、活動後には分かったことや疑問に思ったこと、今後の活動の予定等を「学習の記録」に記入し、活動の見通しがもてるようにする。相手の話を聞き取ることができる。課題にそって情報を収集することができる。情報機器の特性を知り有効に活用することができる。
まとめる・表現する	11/5(2時間) 11/6(1時間) 11/8(1時間) 11/12(2時間) 11/15(2時間)	5 活動したことをまとめる。 (総合2時間) 6 調べたことを表現する (総合8時間)	デジタルカメラ ビデオカメラ ビデオデッキ テレビモニター コンピュータ ・CD-ROM 図鑑 ・インターネット ・ワープロソフト ・グラフィックソフト プリンター プロジェクター スクリーン テープレコーダー	活動を通して感じたことや考えたことを、これまでの自分の考えと比べながらまとめられるようにする。相手に気持ちを伝えることができる。相手のよさを理解しようとする。めあてを立てて、最後まで取り組もうとする。自分の考えや思いを適切な方法で表現することができる。情報機器の特性を知り、有効に活用することができる。まとめ方についてグループごとに発表し、情報を交換



			交換する。		し合うことで、工夫に気づき、取り入れられるようにする。
	11/20(2時間)	7 調べたことを発表する。	発表するための役割分担を決め発表の練習をする。発表をお互いに聞き合い、伝え方や内容についてより分かりやすいものに修正する。発表するとともに、各グループの発表を聞き、情報を交換する。	デジタルカメラ ビデオカメラ ビデオデッキ テレビモニター パソコン ・CD-ROM 図鑑 ・インターネット ・ワープロソフト ・グラフ作成ソフト ・プレゼンテーションソフト プリンター プロジェクター スクリーン テープレコーダー	ペアのグループ同士でお互いに発表し合い、発表の仕方と内容について助言したり、修正したりして、よりよい発表に生かせるようにする。目的に応じて情報を選択し伝えることができる。相手に気持ちを伝えることができる。お金の価値や人のふれあいの大切さに気づき、その大切さを周りの人に伝えるという目的意識をもって、表現方法を工夫することができる。これまでの活動を振り返って自分の取り組みに感想をもち、これからの生活に役立てていけるようにする。自分のよさに気づき、よりよく生活していこうとする
伝える・広げる	11/22(1時間)	(総合3時間)			
	11/26(2時間)	8 調べたことを広げる	活動から得た大切なものを周りにいる人々に伝える。		
	11/28(2時間)	(総合4時間)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙を書く。</li> <li>・Eメールを出す。</li> <li>・模造紙やポスター等を掲示する。</li> <li>・新聞やちらし等を配る。</li> </ul>	
	11/29(1時間)	9 これまでの活動を振り返る (総合1時間)	これまでの活動を振り返り、自分の考えを深めることになったことを中心に感想を書く。		
		合計(37時間)			

## 5 児童の反応等

本校の研究テーマである「伝え合う力を培うための効果的な情報機器の活用」に基づき、本単元では次のような児童の活動が見られた。

### 【調べる・追求する】

- ・インターネットのwebページから情報を収集する。
- ・CD-ROM 図鑑を使って課題について調べる。
- ・デジタルカメラやビデオカメラで活動の記録をとる。

### 【まとめる・表現する】

- ・デジタルカメラで残した活動の記録をまとめや発表に役立てる。  
画像を印刷して、模造紙等に貼り付ける。  
画像をワープロソフト(一太郎スマイル)に貼り付けて、解説を加える。  
画像をプレゼンテーションソフト(パワーポイント)に貼り付けて、電子紙芝居を作る。
- ・ビデオカメラで撮った活動の様子映像にコメントを加えて説明する。
- ・グラフ作成ソフト(かいけつ表グラフ)を使って、調べたことをグラフにまとめる。
- ・モニターやプロジェクタを用いて発表資料を提示する。

## 6 成果と課題

本単元での情報機器の活用については、課題を追求するためだけでなく、まとめたことを発表するという見直しをもたせ、情報機器を使って活動等の記録を残していくことも考えさせた。そして、自分たちの100円をきっかけとしたゆめをかなえるための活動の様子や体験を通して得られたものの中から伝えたいことを話し合わせ、「活動をしていない他の友達にも、活動やその時の生の感動をいかに分かりやすく伝えられるか」ということを児童に投げかけた。その結果として、児童は伝えたい内容にあった表現方法を考え、工夫できるようになり、そこから情報機器の特性に気づき、有効な手段を用いて活用できるようになっていった。この他にも、様々な教育活動の中で情報機器を活用することにより、もともと情報機器を使うことに対して意欲が旺盛な児童は、調べたりまとめたりして、表現することを楽しむようになっていった。

今後も、情報機器を活用するにあたっては、積極的に触れさせる中で、課題についての適切な情報を得るのに有効な手段であるか、調べたことを情報機器の特性を生かしてまとめられているか、伝える相手に分かりやすく表現でき、興味を引きつけるものであるか等を留意しながら手段を選ばせ、有効に活用できる能力を身に付けていきたいと考える。